

『台湾警察協会雑誌』第75号（大正12（1923）年8月25日刊）の
再発見について（再訂稿）

— 『『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録』補遺—
— 日本統治下台湾警察史の一齣 —

（令和4（2022）年8月2日（火）現在）

（補正経緯）

（HP初出）初稿：平成27（2015）年1月8日（木）作成
改訂稿：平成27（2015）年1月9日（金）作成
（誤植訂正）
再訂稿：令和4（2022）年8月2日（火）
（レイアウト全面変更、一部補正、追加）

〔目次〕

『台湾警察協会雑誌』第75号の再発見経緯 ……………1
【附録】本HP別稿日本統治下台湾警察史関係抄……………2
（別添）『台湾警察協会雑誌』第75号（8月号、大正12（1923）年8月
8月25日刊）目次 ……………4

『台湾警察協会雑誌』第75号の再発見経緯

1988（昭和63）年1月の李登輝（1923～〔2020〕）政権成立後、台湾では台湾史研究が漸く進展し始め、これに伴い、従来殆ど手がつけられていなかった日本統治期の雑誌類も、本格的検討の時期に入った。そうした中、中島利郎教授（1947～）は、『台湾時報』、『台湾警察協会雑誌』、『台湾警察時報』、『台法月報』及び『台湾教育』等といった当時の主要雑誌の目録を作成、刊行した¹。このうち、警察雑誌については、『『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録』（林原文子氏と共編、緑蔭書房、平成10（1998）年8月25日刊）²として刊行されたが、これで初めて日本統治期台湾警察の様々な分野の活動

¹ 中島利郎編『『台湾時報』総目録』（緑蔭書房、平成9年2月15日刊）、中島利郎・宋宜静（1969～）『『台法月報』総目録』（緑蔭書房、平成11年9月25日刊）、中島利郎・宋子紘（?～）『台湾教育総目録・著者索引第124—497号（1912—1943）』（台北・南天書局、2001年10月刊）等であり、その後、中島利郎編『『台湾地方行政』総目・人名索引〔試行本〕』（緑蔭書房、平成21年9月30日刊、<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatayoshi/nakajima001.pdf>）なるものも出た。

² （内容概要）

台湾警察協会発行『台湾警察協会雑誌』（大正6年（1917）6月20日創刊、昭和4年（1929）11月1日停刊、全149号）及び誌名を改めて同協会から発行された『台湾警察時報』（昭和5（1930）年1月

が判明するに至った。

しかし、上記『『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録』「凡例」によれば、「『台湾警察協会雑誌』第 75 号」は各機関ともに欠号になっており閲覧できず、ために収録できなかつたことをお断りしておく。」(i 頁)とのことで、『台湾警察協会雑誌』第 75 号(大正 12(1923)年 8 月 25 日刊)の内容については未判明であった。なお、同書「あとがき」では、「本目録作成にあたり、[国立]台湾大学研究図書館³、国立中央図書館台湾分館[現在の国立台湾図書館]⁴の蔵書を利用させていただいた。」(758 頁)とある⁵。

このため。上記第 75 号の補充については長く気がかりであったが、国立台湾大学図書館、国立台湾図書館といった台湾のメジャー図書館に所蔵されていないことから、この欠号補充はかなり難しいと思われていた。しかるに、平成 26(2014)年 12 月末台湾警察専科学校⁶副教授劉惠璇博士から遂に再発見に至ったことの連絡を受け、更に翌平成 27(2015)年 1 月新年早々同氏から更に詳細な御示教を賜った。寔に夢の如きことであり、劉博士の御尽瘁、御貢献に対し、遥かに深甚の敬意を表する次第である。

ついでには、中島教授御作成の上記『『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録』所収各目次の形式にほぼ倣って、第 75 号目次を作成し、別添として掲載しておくこととする。同『総目録』の補遺ともなれば幸甚である。

【附録】

本 HP 別稿日本統治下台湾警察史関係抄

- ・「法制史学者著作目録選」中「日本統治下台湾警察史コーナー」参照(下記はその一部)
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>>
- ・台湾総督府警察官及司獄官練習所覚書
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/renshujo.pdf>>

1 日発行、昭和 19(1944)年 4 月前後に停刊、現見 338 号)の総目録。著者名索引付き。目次:・第 1 部 台湾警察協会『台湾警察協会雑誌』総目録、・第 2 部 台湾警察協会『台湾警察時報』総目録、・著者名索引。

³ 国立台湾大学(図書館): <<http://www.ntu.edu.tw/>>

⁴ 国立台湾図書館: <<http://www.ntl.edu.tw/mp.asp?mp=3>>

⁵ その後、『台湾警察協会雑誌』及び『台湾警察時報』両誌は一時期台湾で復刻されるといわれたが、最終的には国立中央図書館台湾分館(現国立台湾図書館)所蔵本を基に、マイクロ資料「『台湾警察協会雑誌』第 1 号～第 149 号(大正 6 年～昭和 4 年)、『台湾警察時報』第 1 号(通巻第 150 号)～第 335 号(昭和 5 年～昭和 18 年。昭和 5 年より『台湾警察時報』に改名。欠号、第 326～328 号) 28 リール 16mm 国立中央図書館台湾分館員工消費合作社 2002 年刊(日本代理店)雄松堂」として刊行された。これに『台湾警察協会雑誌』第 75 号が収録されているかについては未確認であるが、国立台湾図書館所蔵本を基にしているとのことであるので、おそらくや未収録かと思われる。

⁶ 台湾警察専科学校: <<http://www.tpa.edu.tw/>>

- ・旧台湾警察諸警友会の回顧
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keiyukai.pdf>>
- ・明治 35（1902）年台北刊行の『警察監獄学雑誌』検討一斑
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugaku.pdf>>
- ・東川徳治氏検討一斑—江戸恵子氏「楊舟 東川徳治年譜考」補遺—（本稿）
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/higashikawa.pdf>>
- ・姉齒松平判官（1885～1941）関係資料抄—日本統治下台湾法制史の一齣—
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/aneha.pdf>>
- ・『台湾警察協会雑誌』第 75 号（大正 12（1923）年 8 月 25 日刊）の再発見について（—
 『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録』補遺——日本統治下台湾警察史の一齣—
 （本稿）
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saihakken.pdf>>
- ・中島利郎教授編『台湾地方行政』総目・人名索引〔試行本〕』（緑蔭書房、平成 21 年 9 月 30
 日刊）の刊行について〔紹介〕
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakajima001.pdf>>
- ・リゼンドル（ル・ジャンドル）について—台湾出兵、十五世市村羽左衛門・関屋敏子によせて—
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/legendre.pdf>>
 目黒五郎・江延遠共著『現行保甲制度叢書』（昭和 10 年初版刊）自序（再掲）—日本統治下台湾
 保甲制度検討の一として—
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/meguro.pdf>>
- ・日本統治下台湾史関係写真集一斑—片倉佳史氏『古写真が語る 台湾 日本統治時代の 50 年
 1895-1945』（祥伝社、平成 27 年 5 月 10 日刊）刊行に寄せて—
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/katakura.pdf>>

(別添)

『台湾警察協会雑誌』第75号(8月号、大正12(1923)年8月25日刊)目次

『『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録』(中島利郎・林原文子編、緑蔭書房、平成10(1998)年8月25日刊)100頁に追加

★第75号(8.25)

目次[下記数字は頁数を指す。]

▼口絵

台湾軍司令部と福田陸軍大将(下部に秋澤烏川「福田將軍東都帰還」あり。福田雅太郎、1866～1932、台湾軍司令官:1921.5.3～1923.8.5 ⇒1923.8.6 軍事参議官) / 警察時事画報 全島警察官及司獄官武術大会剣道出演者 / 同 全島警察官及司獄官武術大会柔道出演者

▼巻頭

1 読書は修養の糧 台湾警察協会主事 岡本 佃

▼論説

2 台湾に施行の治安警察法(承前)十五 集会の制限禁止及解散 高等法院検察官 三好一八

16 警察保護と釈放者 法務部長 和田一次

24 法律的心理学(二) 文学士 松月秀雄

▼講話

30 社会主義と国家主義 ドクトル、オブ、ヒロソー 中根環堂

▼雑録

36 神性より獣性への墮落 法学士 碧湖学人

40 警察宣伝と民衆化 台中州警部 山崎昇吉

45 脳漿検査に就きて 台南州警部補 阿部儔

49 賞罰は均等たれ 台中州警部補 山口七郎

▼修養

53 孟子講義(十一章) 松井松軒(松軒学人松井端)

▼趣味

59 犯罪小説『富豪の死』(七) 座光東平⁷

63 『台湾匪誌』より 深山風

67 茶話 (一記者)

▼記事

68 彙報 || 68 台北州屈尺蕃整理実施に関する状況 / 71 全島警察官及司獄官武術大会 /

82 台中州警察巡廻講演 / 82 台中州警務部職員納寮涼会状況 / 83 台北州方面委員

⁷ 「座光東平」については要注目人物であって、先人方も長くその人物像を追及されておられるが、現在でも詳細不明であり、なお今後の課題であるといえる。(平成27(2015)年1月9日(金)追加)

- 84 質疑応答
- 85 『台湾匪誌』に就て（秋澤烏川）
- 86 時報 || 86 司法保護 / 87 重要犯人増加
- 88 文苑 || 88 散文（五篇：石崎刀水、阿部月江、雪峰生、鈴木幸之助、紫水生） / 93 長詩（九篇：しらかば、野田静川、土肥黙生、大橋呑宇、相思園主人、香月たけ夫、相川白堇、紫水生、田中路草） / 97 短歌（木村蕃翠、砂内溪泉、中稲白鷺、立石啓一、則末生、水窟居士、市毛里八、後藤緑水、野末生） / 98 俳句（一城青葉、青山紅雨、菅蛇足、進藤生、香月村雨、市毛里八、桜東洋、西洲、ウイラン、木瓜、和田利龍、楽水） / 99 漢詩（許丙丁〈二句〉、笑峰、瘦梅〈三句〉、許鏡汀、武富晴太郎、子衡生、彭樂山）
- 100 通信 || 東京通信 警察講習所より 台中州警部 高森秀雄
- 106 声 || 106 警察官の自覚（台北 佐藤角治） / 107 語学講習機関設立に就て（台東庁 松尾佐賀太郎） / 108 俸給支払日に就て（台中州 黙齊生） / 108 甲乙種巡査撤廢論に就て（新高 刀水生） / 109 記者より一筆
- 110 語学 || 日台会話相互之研究（其十九） 川合真永
- 113 任免辞令
- 115 編輯室より
（裏表紙） 第四回懸賞論文募集 論題 理蕃政策論

▼その他本文挿入写真

- 61 屈尺蕃に於ける田端警務局理蕃課長訓示
- 65 屈尺蕃に於ける佐藤台北州警務部長訓示
- 69 屈尺蕃代表頭目三名旧慣に依る宣誓式
- 73 剣道優勝新竹州団
- 79 柔道優勝高雄州団

（了）